



児童家庭支援センター

## ファミリーステーションいなみえん通信

発行：社会福祉法人 伊奈美園 発行日：令和2年2月吉日【第25号】

### 第7回Nobody's Perfectで感じたこと

里親支援専門相談員兼相談員 上出 洋子

今年度で7回目となる子育て支援講座・Nobody's Perfect（以下NPプログラム※）が当機関で11月1日～12月6日まで毎週金曜日、全6回開催されました。

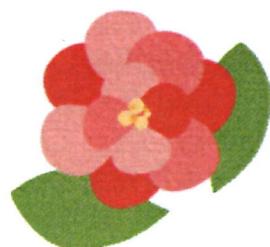
インターネットの普及で世界中の人々と簡単に繋がりをもつことが出来るような時代になりました。そしてSNSなどのコミュニティを利用する人も増え、コミュニケーションの形がめまぐるしく変化をしてきています。子育ての相談もSNSなどのコミュニティや掲示板などで手軽に行えたり、心配事があればインターネットを検索すればすぐに答えが返ってきます。現在、乳幼児を子育て中の親の世代はほとんどの方が利用しているのではないでしょうか。このような時代においてNPプログラムのように時間通りに会場に出向く参加型の講座に参加することに消極的な方が増えたように思います。実際に今回NPプログラムの募集を開始し、募集用紙の配布に加えて、NPプログラムの内容や魅力を直接説明する機会を設けても申し込みにはなかなか至らず、開催できなくなるのでは？と不安な日々が続きました。最終的には参加の応募を頂き講座を開催することが出来ましたが、今後NPプログラムを継続していくけるのかという思いが大きくなりました。ですが、全6回のNPプログラムが終了するとわたしの思いは不安から決意に変化していました。



このNPプログラムは無料の託児があり、お子さんと離れて親同士が話し合い、交流の時間を持つことができます。親の年齢や子どもの年齢、出身地や育ってきた環境、価値観の全く違う参加者がさまざまな話し合いを行うことで回を重ねるごとに、お互いの価値観や特性を認め合い、お互いの話に耳を傾けている姿を今回も見ることが出来ました。とても嬉しく、有意義で素敵な時間だと感じました。顔を合わせて話し合いを行うことで生まれた空気感や関係性がそこにありました。最終回では思いがあふれ涙を流す参加者もみられました。

SNSやインターネットの魅力とは全く違うNPプログラムを今後も継続していかなくてはと思ったと同時に、たくさんの方に参加して頂ける方法を考えいかなくてはならないと感じた今回の講座でした。

※（NPプログラム…0歳～5歳までの乳幼児を子育て中の親を支援することを目的としたカナダ生まれのプログラム。参加者が主体のグループワークでの形式で行われ、それぞれの悩みや関心事をテーマに参加者全員で話し合い、自分にあった子育てを見つけていく講座）



## 里親体験学習

里親支援専門相談員兼相談員 上出 洋子

今年度より里親支援事業のひとつとして、「里親体験学習」を当機関で開始しました。里親登録されている方対象で体験型の研修となります。内容は先の記事で報告しておりますNPプログラムの託児で専門の保育士の補助として、遊ぶ、おやつ・ミルクを提供する、寝かしつけ、オムツ替えを行うなどのお子さんのお世話の体験をして頂くものです。

研修の募集を開始するとたくさんの応募や問い合わせがあり、予想を超えた反応に驚いたと同時に、里親さんの研修に対する意欲をとても感じました。研修中は参加者のみなさんがお子さんとの交流を楽しみながら、また、子どもの様子をよく観察して参加者それぞれに感じたことがあったようです。

今回は保育の体験をして頂くものでしたが、里親さんがお子さんと触れ合う姿を見たり、実際に会ってお話しすることで里親さんそれぞれの考え方や個性を伺い知ることができました。そして、里親さんそれぞれに合った支援の方法はまだまだあると感じました。今後もこの繋がりを大切にし、里親支援専門相談員として出来る支援の幅を広げていきたいと思っています。



## 表 雅一 理事長先生が逝去

所長 田中 孝

昨年の8月9日朝、7年間の闘病生活を続けられてきた表雅一理事長先生が亡くなられました。平成元年より、児童養護施設長の務めも併任され、子ども達からは、とても優しい“ひげの理事長先生”と慕っていました。私たち職員にとっては、あたたかく見守ってください、時には厳しく叱咤激励され、私は入職以来40年を超す長いお付き合いとなりました。



斬新なアイデア、そして常に先駆的な取組みをされそのために県外の研修会や職員の研修旅行だけでなく、私的な外出時にも常にアンテナを張っていたと思われます。そのアイデアは、ソフト・ハード両面にわたって多くあります。主なものとして、①ISOの仕組み～始めた当初は、言葉の意味も分からず苦労しましたが、現在は園組織の根幹となり、第三者評価受審にも役立っています。②園内のインターネットである伊奈美園システムの導入～毎日のケース記録や書類整理など職員の事務省力化が進みました。③奥能登臨海キャンプやスキー合宿など～子どもが自然と触れ合う機会を多く設けることで、自分自身で考え創造する力や他人への思いやりの精神や社会性が身につくという考え方に基づいて、年間を通して多くの行事を企画運営しています。

思い出は沢山あります。パソコン、ラーメン、お酒、情の深さ、海外旅行etc・・・いつまでも私たちの心に残っていくことだと思います。葬儀にて職員代表の弔辞で述べさせていただいたように、理事長先生のご遺志を受け継ぎ、職員一同、子どもたちの最善の利益を念頭に児童福祉に邁進して参ります。どうか、空の上から子ども達と私たちのことを見守っていてください。今まで本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈りします。合掌。



## 田中孝所長～瑞宝单光章を受ける！

令和元年秋の叙勲にて、長年にわたり児童養護施設の指導員として児童の健全育成に励んだことから、瑞宝单光章を受賞されました。

この慶事に対し、編集委員が田中所長にインタビューしました。

### Q1. 受賞して一番うれしかったことは？

多くの皆様より、「おめでとう」とお祝いのお言葉をいただきいたことです。この年になると、お祝いされることがほとんどなく、息子の誕生以来26年ぶりの「おめでとう」コールでしょうか？その言葉が心地よく、時には目頭が熱くなることもありました。いくつになっても嬉しい言葉です。

12月初めに園の子ども達から手作りのお祝いメッセージカードをもらいました。最高のプレゼントになりました。お返しに“ありがとうクッキー”をわたしたところ、日々に「ありがとう、美味しいかった」と言われ、これまた幸せな気持ちになりました。人の温かさを感じ感無量でした。

### Q2. 皇居へ拝謁に行ってどうでしたか？

12月13日に家内と一緒に厚生労働省にて、加藤勝信大臣よりお祝辞をいただきました。その後、バス20台に分乗し皇居へ移動し、皇居で一番大きい豊明殿にて天皇陛下よりお祝いのお言葉を頂戴しました。かなりの近距離で拝顔することができました。今までにない緊張とドキドキした瞬間でした。二度と出来ない貴重な経験だと思いました。

精神的にホッとしたその後、新橋に移動して東京在住の叔父2人とのお食事会になりました。二人とも91歳、85歳と思えない元気な方で、美味しいお酒を酌み交わしお祝いしていただきました。見た目はお年寄りですが、厚労省出身と文科省出身だけあり、話しの内容や飲食の豪快ぶりは、まさしく“あっぱれ”でした。元気をもらった東京の夜でした。

### Q3. 今後どうしますか？

41年間には、夜も眠れない大変な事も沢山ありました。特に昨年は辛い出来事もありましたが、一年の締めくくりに栄えある叙勲を頂戴し、身が引きしまる思いです。9月末に内示を聞いた時、8月に亡くなられた表雅一前理事長先生の顔が頭に浮かびました。雅一前理事長先生からの褒美だと感謝の気持ちでいっぱいです。

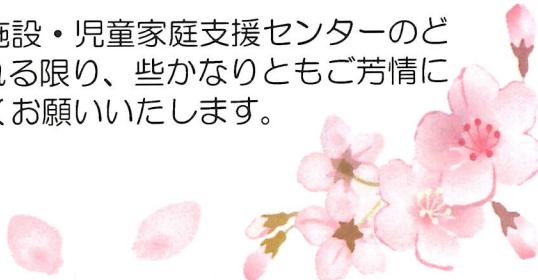
2020年度からの10年間は、児童養護施設・児童家庭支援センターのどちらも大きな変革期となります。続けられる限り、些かなりともご芳情に報いたいと思います。今後ともよろしくお願ひいたします。



厚生労働省にて



子ども達よりプレゼントされた  
手作りお祝いカード



# 今年の目標

理事長 表 敬喜

2020年が始まりました。昨年を振り返ってみると、魅力的な福祉職場とはどういう職場か？魅力的な職員とは？魅力的な大人とは？と考え続けた1年だったような気がします。結局、まだまだ上手くいっておらず、自分自身の成長も見られないのですが、とりあえず、今考えているのは自分が子どもの頃、魅力的な大人とは「気が優しくて力持ち」な大人だったような気がします。体が小さく非力な子どもにとって大きくて力持ちな大人はあこがれだったような、ほんやりとした記憶があります。また、今年のブーム「ラグビー」や「筋肉」も潜在意識にすりこまれたのでしょうか？今年は、まずは自分自身がそうなれるよう、努力してみたいと思います。



## 相談担当

曜日	一般相談担当		心理担当(要予約)	
	上出	村上	浅田	森井
月	9:00-17:00	10:00-16:00		9:00-17:00
火	9:00-17:00	10:00-16:00		13:00-21:00
水	9:00-17:00			13:00-21:00
木	9:00-17:00			13:00-21:00
金	9:00-17:00	10:00-16:00		9:00-17:00
土	9:00-14:30		10:00-17:00	9:00-14:30
日				

### 【相談ダイヤル】

月曜日～土曜日  
9:00～17:00  
**0761-75-8889**

### 【山代出張相談】

<場所>山代よりみちハウス  
<日時>毎月第2火曜日  
14:00～16:00  
連絡は当センターまで

## 令和元年度相談件数統計

	4/1～12/31（延件数）
電話相談	<b>57</b>
来所相談	<b>230</b>
訪問相談	<b>248</b>
心理療法等	<b>186</b>
合計	<b>721</b>
児童相談所からの受託による指導	<b>99</b>

子どもと家庭の悩み 話してみませんか？

**児童家庭支援センター ファミリーステーションいなみえん**

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉井6番地

TEL 0761-75-8889 FAX 0761-74-1461

E-mail center@inamien.jp

HP <http://www.inamien.jp>